

**EXIT NORTH**  
ANYWAY, STILL



i only believe in untold stories  
(lyrics by thomas feiner)

文字は綴り  
音節は奏で  
言葉は伝える  
でも何の意味もない  
それらが何を紡いでも  
紡いでも  
まだ語られていない物語だけを  
僕は信じる

砦は堅く  
寵臣は従い  
教義は護る  
でも何も残らない  
それらが何を齎(もたら)しても  
齎(もたら)しても  
信じぬ者の声だけを聞く

我が真実(まこと)は雲の中に  
我が雲は空(そら)にあり

道筋(みちすぢ)は示し  
居場所(いばしよ)は確かめ  
源(みなもと)は語る  
でももっと深く知らねば  
手を伸ばし泥(どろ)に塗(ぬ)れても

我が雲は空(そら)にあり

your story mine  
(lyrics by steve jansen)

物語(ものがたり)が始まる  
風の囁(ささや)きから生まれた  
僕の追想(おぼえ)

浮かび上がる舞台  
繋がる始まりと終わり  
幕開(まくひら)けだ

担(か)ぎ込まれる子供  
痛(いた)みに泣(な)き叫(こ)び  
どうして良いか分からずに  
逃げ出したくなる

心(こゝろ)から湧(わ)き出して  
零(こぼ)れ落ちる詩(うた)を  
五線(ごせん)に刻(き)み込み  
消(き)えゆく灯(あかり)のものと  
影(かげ)となり忍(しの)び寄り暴(あ)ぐ  
その心臓(しんざう)の音を聞(き)け  
罪(つみ)を犯(と)すその時の  
富(とみ)むものから奪(うば)え  
その無駄(むだ)な財産(ざいぜん)を  
隠(かく)されたベッドの下(した)から

二度(にど)と語(かた)られることなき  
この小(こ)さな声(こゑ)が  
再(また)び地(ち)に帰(かえ)りゆく  
そして立ち上がる言葉(ことば)に耳(みみ)を傾(かた)けよ  
生命(いのち)の輝(かがや)きに向けて  
灰(か)いに塗(ぬ)れた太陽(たいやう)も  
粉(こな)々(々)になった悲痛(ひつう)も  
全て(すべて)また癒(な)される  
言葉(ことば)だけでも  
良(よ)き結末(けつまつ)として  
その物語(ものがたり)を僕(ぼく)に委(まか)ねて  
君(きみ)の優(やさ)しさを忘(わす)れ得(え)ぬように

the unforeseen  
(lyrics by thomas feiner)

さよなら  
彼方(あつち)  
伝え  
広(ひろ)められた夢(ゆめ)  
大切な  
大切な絆(きずな)  
進(すす)まない船(ふね)  
進(すす)まない船(ふね)  
償(たが)い  
償(たが)い  
頼(たよ)りなき航海(かいかい)

where the coin fell  
(lyrics by thomas feiner & steve jansen)

運(う)に身を任(まか)せるかい  
いつになったら委(まか)ねるのか  
哀(あ)しき道(みち)のり  
夜明(よあ)けになれば  
何処(どこ)に辿(たど)り着(き)く

僕はただ(ただ)のドライバー  
いつか何処(どこ)に行(い)きたいのか  
従(したが)うだけの身(み)だ  
でももう終(お)わりの時(とき)  
中身(なかみ)なき器(うつわ)

いつ心(こゝろ)を開(ひ)いてくれるのか  
行き場(いりば)のない思(おも)いを鎮(しず)めて  
目覚(め)めることなく  
朝(あ)になった  
さあどの道(みち)を行(い)く

僕はただ(ただ)のドライバー  
心(こゝろ)を許(ゆる)してくれたなら  
満(み)たされるのさ  
辿(たど)り着(き)いた先(まへ)の  
この空(そら)虚(うつろ)な身体(からだ)が

報復(ほうふく)を求(もと)めて  
必死(ひつし)に抵抗(ていこう)し  
立ち上がる時(とき)  
気付(きづ)くはず  
求(もと)める者と  
従(したが)う者(もの)  
今(いま)ここで  
見(み)つめ合う

辿(たど)り着(き)く先(まへ)は  
辿(たど)り着(き)いた先(まへ)は  
何処(どこ)だ(ら)って良(よ)かったんだ  
夜(よ)が去(い)り朝(あ)が来(き)て  
諦(あきら)めるんだ  
ここ(こゝ)が始(は)まりで終(お)わりの時(とき)

bled out  
(lyrics by thomas feiner)

不協和音の世界  
途方もなく深く掘られた穴に  
吸い込まれた僕

もうここにはいない  
でもいつまでも許されず  
求められ  
なす術も無く

消えてしまった  
影に隠れて  
死が訪れても  
物語は続く

どこまでもどこまでも  
色彩を失い  
何も分からず途方に暮れる  
誰もやってきてはくれない

まるで泡の中の如き  
逃げ場だったこの場所に  
もう色が届くこともない  
意識の向こう側

ステージ脇に佇み  
孤独に寄り添う  
死が訪れても  
物語は続く  
灰色に囲まれ  
色彩を失った  
君が辿り着いても僕はいない

目を覚まして  
思い出して  
懐かしき人々よ  
死が訪れても  
確かに僕はそこにいて  
演じている  
生きているのか死んでいるのか  
僕はここにいて 蘇る  
今まさに 戻ってくる

us in half  
(lyrics by steve jansen)

見つけれなかった  
何が本当に必要だったかを  
目を背けて  
諦めた感情に  
がんじがらめになっていたから

声は届かず  
的はずれで  
言葉にもならない  
何をしたかったのか  
何処から始めれば良いのか

楽しめているか  
笑えているか  
何もかもを  
分かち合えるのか  
共に墮ち  
共に涙し  
幸せになれたか  
向き合っていたか

離れてゆく手と手  
何を想っているのか  
虚ろな目が語る  
誰のせいにもできない

登る  
落ちゆくまで  
咲き誇るまで  
愛があって  
なくなって  
もう誰もいない

a battle cried  
(lyrics by steve jansen)

舞い落ちる羽根のように  
見せかけの華やかさは  
芯まで擦り減っている  
勝利を掴み損ねた翼の如く  
踏み留まろうとも  
錯乱するノイズに追いやられ  
音なき叫びを上げて  
戸惑っている  
震えを抑え  
限られた時の中で  
虚ろに嘆く

見逃さぬよう凝視する  
配られるカードの真実を  
痕跡を残すことなく  
ゆっくりと時間をかけながら  
弱き心は消し去られる  
君のために

期待しているのに  
何を待っているのかさえ分からない  
覚悟だけはある  
でも虚しさは壁に共鳴し  
巻き上がる炎が不協和音となる  
読み切れずに打ち負かされる  
致命的な一撃に  
もがき苦しむ

いかさまだらけで 渦巻く暗躍  
抜け出しても  
羽根を無くした鳥のように  
ゆっくりと時間をかけながら

弱き心は消し去られる  
痕跡を残すことなく  
ゆっくりと時間をかけながら  
意味なき夢に我を失う  
これ以上何ができるのか

with all the indifference  
(lyrics by steve jansen)

ゆらめき輝く  
雫が瞳からこぼれ落ち  
枯れた身体は  
叫ぼうとする  
内なる全ての闇を晴らすために

けれど同時に自意識が  
その僅かな願いすら誹謗する  
やがて訪れるのであろうか  
変わり果てた形となって  
この目の前に  
命の端に縫り付き  
先の無い道を緩やかに  
前すら見ずに

いつか目覚めさせて  
そして連れ戻してくれ  
あの始まりの場所へ

in the game  
(lyrics by steve jansen & thomas feiner)

涙の後に残るのは何  
ホールに響く笑い声  
あの頃の思い出  
違うかい  
目の前に広がる景色

昔いた場所  
迷うことなく  
のめり込む  
分け隔てなく  
誰彼問わず  
夢中に遊ぶ  
暗号を解いて  
覚悟を決めて  
守り抜いて  
勝利するまで  
誰彼問わず  
夢中に遊ぶ

霞を散らし  
のめり込む  
誰彼問わず  
夢中に遊ぶ  
昔いた場所  
のめり込み  
のめり込み  
昔いた場所  
誰彼問わず  
夢中に遊ぶ  
そして今もまた

the signal  
(lyrics by thomas feiner)

ここが君にとって唯一の  
心が宿る場所  
でも鼓動が告げてくる  
そうではないと

さあ荷物を取りにゆけ  
終わりからの始まり  
新たな兆しを待つ者たち

常識と現実と困まれた  
知識に縛られた場所  
でも湧き出る想いが語る  
それだけが真実ではないと

新たな兆しを待つ者たち  
遠くからの呼びかけ  
闇夜からもやってくる

さあ荷物をまとめよう  
終わりからの新たな始まり  
その兆しは確かに君の中に

日本語訳: 渡辺成一、美馬亜貴子  
コーディネート: 林口砂里  
ブックレットデザイン: ウルフ・ヤンソン

translation by Seiichi Watanabe & Akiko Mima  
design by Ulf Jansson  
coordination Sari Hayashiguchi



**EXIT NORTH**  
ANYWAY, STILL